

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

競技は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本競技会申し合わせ事項によって行う。
WA規則 143 条 (TR5：シューズ) は適用しないので1次招集の際に「規定外シューズ使用届」を提出すること。

2 練習について

練習は、主競技場・補助競技場（時間帯による）・公園内の指定された場所（別紙参照）のみを使用すること。ただし、投てき練習は、招集完了後役員の指示により行う。

3 招集について

- (1) 招集所は、主競技場は雨天練習場、補助競技場は補助競技場内に設ける。
- (2) 種目別の1次招集完了時刻と最終招集完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 招集の手順
 - ① 1次招集完了時刻までに招集所に掲示するエントリーリストに○印をつける。その際、アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイクピンなどの確認を受ける。なお、長距離種目の別ナンバーは最終招集時に配付する。
 - ② 最終招集完了時刻にトラック競技は各種目のスタート付近、フィールド競技は各種目の競技場所において点呼を受ける。
 - ③ 点呼の代理は認めない。ただし、2種目にわたって同時刻に出場する競技者は、9時までに本人が競技者係へ2種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイクピンなどの確認）を受けておくこと。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は出場を認めない。
- (4) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出する。

4 競技について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
- (2) **5000m、3000mは補助競技場で実施する。**
- (3) 5000m、3000mは別ナンバーカードを使用する。競技終了後、フィニッシュ地点で係に返却する。
- (4) レーンを使用するトラック競技の腰ナンバーは各校で用意し、右側につける。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは、9mm以内、本数は11本以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。

5 競技用具について

競技用具は、主催者が用意したものを使用する。

6 走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

走 高 跳	男 1 組	1.30(練)	1m35-40-45-50-55-60-65-70-75-80-85 以後3cmずつあげる
	男 2 組	1.55(練)	1m60-65-70-75-80-85 以後3cmずつあげる
	女 1 組	1.05(練)	1m10-15-20-25-30-35-40-45-50 以後3cmずつあげる
	女 2 組	1.25(練)	1m30-35-40-45-50 以後3cmずつあげる

注) 天候その他で変更する場合がある。

7 その他

- (1) すべてのスタンドの使用を認める。ただし、バックスタンドのトイレの使用は禁止する。
- (2) スタンド、更衣室等は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は必ず各校で持ち帰ること。
- (3) 感染防止に配慮し、声を出しての応援、集団での応援は禁止する。（手拍子は可とする）
- (4) 補助競技場の芝生内への立ち入りは禁止する。